

工学部研究資料館の保守管理および公開について

－国指定重要文化財の保守管理と開放業務－

○中村秀二、倉田 大、白川武敏、清水久雄、平田正昭、廣田将輝、稲尾大介

機器製作技術系

1 はじめに

工学部研究資料館の建物と館内に展示されている工作機械 11 台は、平成 6 年に国指定重要文化財の指定を受けた。熊本高等工業学校の機械実験工場として明治 41 年に設置された本館の西側にはボイラ、蒸気機関室を設け、機械実験室に動力を供給し、全ての工作機械を動かす構造になっていたが、現在はボイラ室が撤去され、電動機による駆動になっている。この建物は、全国でも数少ない現存する近代的建築物として、実用性と装飾的要素を備えた美しさがあり、大変貴重な建造物である。平成 19 年には日本機械学会より、工学部研究資料館および国指定重要文化財工作機械（11 台）に 2 台を加えた工作機械群（13 台）が機械遺産として認定を受けた。

2 工学部研究資料館工作機械群の機械遺産認定について

2.1 機械遺産とは

機械遺産は 2007 年 6 月に日本機械学会創立 110 周年記念事業により設けられた制度であり、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本の機械技術発展において強い影響を与えた機械・機器・機械関連システム・施設・設計仕様書・教科書などを対象に与えられている。また、所有管理などの継続ができなくなった場合に、処分や散逸を防ぐために他機関などへの移管の仲介などを行い、認定した機械を保存する制度である。

2.2 工学部研究資料館の歴史 - 機械遺産認定まで -

明治 30 年（1897）に設置された第五高等学校工学部より熊本高等工業学校が明治 39 年（1906）に独立し、明治 41 年（1908）12 月熊本高等工業学校機械実験工場として竣工した。その後、建物は熊本大学に引き継がれ、新しい実習工場（現中央工場）ができる昭和 47 年（1972）までの約 60 年間、実習工場として研究支援や学生指導などに使われてきた。



昭和 52 年（1977）に熊本大学工学部 80 周年記念事業で、工学部研究資料館として整備され、平成 6 年（1994）に建物と工作機械群 11 台が重要文化財として指定を受けた。平成 9 年（1997）に熊本大学工学部 100 周年記念事業の一環として、これまで稼動していた 3 台の機械の外 8 台の動態保存化を進め、平成 11 年（1999）国指定重要文化財工作機械 11 台全てが動態保存となった。平成 19 年（2007）に日本機械学会より、工学部研究資料館および館内工作機械群 13 台（国指定重要文化財の 11 台含む）が機械遺産に認定された。

2.3 今後の工学部研究資料館の役割

工学部研究資料館の役割としては、機械遺産の認定条件にもあるように「歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えること」を使命とし、多くの人達に工作機械の歴史および本学の歴史を伝えていくことが肝要と考える。毎年、工学部研究資料館には各大学をはじめとする研究機関等の学識者および一般の方々など多くの来館者がある。平成 19 年の機会遺産認定で新聞やテレビなどのメディアに取り上げられたことから、毎年約 2,000 名程度の来館者がある。また、恒例行事の一つとして、秋には資料館の建物空間を活かした音楽コンサートを開催している。このように工学部研究資料館の役目は、大学の教育だけではなく、様々な分野に関しても活用できるのではないかと考える。表 1 に平成 23 年度の工学部研究資料館の公開内容および来館者数を示す。

表 1 工学部研究資料館(重要文化財工作機械)の公開および来館者数

公開日	行事内容	来館者数(名)
平成 23 年 5 月 25 日	個人見学(鬼木様 埼玉県)	1
平成 23 年 5 月 31 日	個人見学(藤井様 静岡県)	1
平成 23 年 7 月 6 日	韓国海洋大学校	38
平成 23 年 7 月 15 日	神戸市産業振興財団	10
平成 23 年 7 月 15 日	文化財保存計画協会	12
平成 23 年 8 月 10 日	研究室公開	677
平成 23 年 9 月 14 日	九州地区国立大学法人等係長研修	62
平成 23 年 9 月 24 日	教員免許状更新講習	46
平成 23 年 10 月 18 日	機械科昭和 19 年卒クラス会	17
平成 23 年 11 月 4 日	ものづくり・創造性教育に関するシンポジウム	33
平成 23 年 11 月 5 日	夢科学探検	625
平成 23 年 11 月 7 日	文部科学省専門教育課長	4
平成 23 年 11 月 9 日	機械系の 50 周年卒業生	34
平成 23 年 11 月 14 日	留学生	25
平成 23 年 11 月 18 日	秋の夕暮れコンサート	87
平成 23 年 11 月 20 日	産業考古学会の見学会	15
平成 24 年 2 月 3 日	その他の見学者	10
	合計	1,697

3 おわりに

工学部研究資料館は、定期公開、年間行事に開館しており、見学をご希望される方は、工学部総務係までご相談いただきたい。また、研究資料館内は定期的な清掃を実施し、重要文化財工作機械については、技術職員により毎月メンテナンスを行なっている。この歴史ある貴重な建物および工作機械群を学生を含め一般の多くの方々に実際に動く状態で見学していただき、機械産業の原点を感じていただければ幸いである。

各種連絡先

工学部研究資料館に関すること

熊本大学工学部 建築学科 教授 伊東 龍一館長 TEL:096-342-3554

工学部研究資料館内工作機械および動態修復に関すること

熊本大学工学部 技術部 機器製作技術系 中村 秀二 TEL: 096-342-3779

工学部研究資料館の見学に関すること

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目 39-1 自然科学系事務ユニット 総務担当 TEL: 096-342-3513